

かけはし



3 あたたかいスタッフのもと子供たちののびのびと



1 家づくりの匠たち

今号の「倫理の達人」

株式会社松本(写真①②)
有限会社まごのて
(写真③④⑤)



4



5 質の高いサービス維持のための定期的な社員研修



2 QHOME

令和4年度岩手県倫理法人会「感謝報告の会」……2

おらほの単会自慢……3

倫理の達人……4

スポットライト……5

モーニングセミナー単会巡回報告……6

単会の広報活動の紹介……6

第4期岩手倫理経営塾 塾生募集！……7

ぶらり寄りみち散歩道……7

万人幸福の菜……8

倫理との出会いと今……8

岩手県倫理
法人会 HP



令和4年度

岩手県倫理法人会 「感謝報告の会」

12月10日(金)、令和4年度岩手県倫理法人会「感謝報告の会」を北上市のさくらホールにて開催致しました。「感謝報告の会」は、本年12月14日が倫理運動創始者である丸山敏雄先生没後70年に当たるのを記念した体験報告会で、初めての開催です。創始者のご念願は、純粋倫理の実践と体験者の増大にあり、その事を最もお喜びになっておられました。そうした創始者のご念願に鑑みて、純粋倫理の提唱者である創始者と普及活動により純粋倫理を私達に伝えて下さった多くの諸先輩に感謝の意を捧げると共に、更なる学習と実践、活動意欲を高めていく事を目的に開催されました。

今回は県内レクチャー総勢104名の中から5名の報告者を選出させていただきました。お名前とテーマは次の通りです。久慈市準倫理法人会・岡野友保会長、「母の足を洗って」。岩手県倫理法人会・佐々木富士子女性委員長、「受け入れる」。けせん倫理法人会・志田美智子専任幹事、「働きは最上の喜び」。盛岡みなみ倫理法人会・柴田さよ子相談役、「信ずれば成り憂えれば崩れる 信成万事」。遠野市倫理法人会・唯是光裕会長、「人は鏡 万象は我が師」。

5名の体験報告は、まるでその場に居合わせたように情景が鮮明に伝わり、会場は笑いあり、涙あり。倫理を学び実践された結果をありのままに話され、大きな感動をいただき、倫理実践の素晴らしさを実感する事が出来ました。また、参加者から多くの方に聞かせたかった、来年も開催して欲しいとの声もたくさんいただきました。

報告者の方々には、この日のために貴重な時間を割いてご準備いただき、心から感謝申し上げます。また、運営にご協力いただいた各単会の研修委員、事務局、関係者の皆様に御礼申し上げます。県の研修委員会として倫理運動70年の節目にこのような行事に関らせていただいたことに感謝いたします。これからもMSを中心とした体験報告に磨きを掛け、一人でも多くの会員の皆様が幸せを実感出来る「仕事と家庭作り」の普及活動をしていこうと思いました。ありがとうございました。

(岩手県倫理法人会研修委員長 小原富美子)



及川元一会長



寺嶋朗圭研究員



岡野友保会長(久慈)



佐々木富士子女性委員長



志田美智子専任幹事(けせん)



柴田さよ子相談役(盛岡みなみ)



唯是光裕会長(遠野)

おらほの！ 単会 自慢

北上市倫理法人会

北上市倫理法人会の自慢！それは女性会員参加者の多さ！毎週火曜日に行われるモーニングセミナーにも、女性会員の姿が目立ちます。令和4年度の会長も女性ですので華やかさも負けてはいないと自負しています！！

北上市倫理法人会の令和4年度のモットーは、「明るく笑顔で楽しく自己成長！」。これは、伊藤明美会長の、「とにかく北上市倫理法人会を堅苦しい場ではなく、誰でも気軽に来て学べる明るい場所にしたい」との思いが込められています。その中でも明るさは歴代会長や役員さんの想いから引き継がれています。

モーニングセミナー朝礼もまた参加人数の多さが自慢できると感じますが、前会長の阿部修副会長が音頭を取って行う「笑いの行法」は朝から半強制的に笑顔になる取り組みです。やっているうちに本当におかしくて笑顔になりますから、皆さん楽しんで取り組んでいます。

また、モーニングセミナー朝礼の前には、曼荼羅シートを会場に貼り出して、毎回使用方法の徹底や、取り組み状況の確認や報告を行っています。会員それぞれが情報を共有し、効率的かつ合理的な活動に繋げるといった共通の目標の確認の場にもなっています。役員皆さんの意見やアイデアを積極的に出し合い、より良い会を作ろうという姿勢が毎回感じられます。

そして、挨拶練習は圧巻と言えるのではないのでしょうか！！私は他単会の役員朝礼の様子は分かりませんが、ずらりと並んだ役員皆さんの、お腹から声を出して挨拶の練習や礼の角度までをしっかり練習する様に、初めて参加した時はとても驚きました。それと同時に、企業や事業所の社長さんが、挨拶や礼の練習を基本から行うという事は、その社長さんの下で働くスタッフの方々もきっと素晴らしい挨拶や礼が実践できているのだろうと思いました。トップの立場になっても基本を忘れないという姿勢は、とても素晴らしいと思います。

モーニングセミナーが始まる前には、お越しになる方々を女性の役員さんが素敵に笑顔でお出迎えます。男性には申し訳ありませんが、やはり女性が多いと緊張せずに安心できる気がします。先日行われた、北上市倫理法人会の会員大会では、女性会員さんたちがハワイアン衣装を身にまட்டுてフラダンスを披露しました。女性のパワーは、もしかすると男性にも負けないかもしれません！

そんな元気で明るい女性会員が多い北上市倫理法人会ですが、男女関係なく皆さん和気あいあいと楽しく、自己成長を目指して取り組んでいます。北上市倫理法人会の自慢は明るい女性会員のパワーとそれを支えてくださる男性会員の皆さんの温かさです！！！！

(北上市倫理法人会広報委員長 伊藤英理子)



モーニングセミナー



元気な女性陣たち



モーニングセミナー朝礼



朝から元気に「笑いの行法」



チームワークもバッチリ

しきなみ短歌会

今回の短歌

駆除するも

巢から離れぬ親蜂に

同情しつつ

吾鬼となる

(山内道治さん)

盛岡市倫理法人会

有限会社 まごのて

住所：盛岡市東松園一丁目 12-13
TEL：019-613-4605
http://www.magonote.cc



代表取締役
久保 忍

有限会社まごのては、2001年12月に設立。今年で20周年を迎えます。代表の久保社長は盛岡市倫理法人会に2013年に入会。入会後は、単会で女性委員会委員長、事務長などを歴任。現在、岩手県倫理法人会では副幹事長を務めています。実は、有限会社まごのては盛岡市初のグループホームを立ち上げたり、岩手県初の有料老人ホームを立ち上げたりと介護業界ではイノベーター的存在で、現在では75名ものスタッフが働く会社です。

現在では介護のみならず、障がい児のお世話をする「共生型福祉事業所 まごっち」や障がい児放課後デイサービス・認可外保育所も運営しており子供たちから老人にいたるまで、あらゆる世代に対してサービスを提供しています。そんな久保社長も会社設立当初は、瞬間湯沸かし器の如く社員に対して指摘を繰り返しピリピリしていた

そうですが、倫理法人会入会後は一旦立ち止まるようになり「採用を決めたのは自分の責任」「社員ができないのは自分の責任」というような考えに変わり、その頃からあまりピリピリしなくなったそうです。そして、当初は離職率も高かったが、倫理の教えの根幹である「あたり前のことをしっかりとやっていこう」と伝えていく中で、お互い通じ合える社員が増えていき、奉仕の心（昔ながらの気持ち）で接する社員が多くなっていったそうです。

久保社長曰く、倫理法人会の良いところは毎週のモーニングセミナーで自分の軸（信念）がブレていないか、間違っていないかを確認できることだと言う。今後も地域のまちづくりと福祉はセットという考えのもと、地域住民との触れ合いを大切に、地域貢献をしていきたいと力強く語られました。（レポート/盛岡市倫理法人会広報委員長 津田徳明）



子供たちにも様々な事に挑戦させることを大事にしている



入所者一人一人に寄り添うサービスを大事にしている

倫理の達人

「倫理の達人」コーナーでは毎号、各単会で活躍する企業を紹介します。企業がどのように「倫理」と向き合っており、会社運営の中でどう実践しているかを紹介します。

二戸市倫理法人会

株式会社 松本 (QHOMe)

住所：九戸郡九戸村大字江刺家 12-2-3
TEL：0195-42-2293
http://www.qhome.co.jp



代表取締役
松本 稔

岩手県自然公園に指定されている折爪岳のふもとで、冬場は、マイナス15°Cになる時期がある九戸村で高性能住宅の建設を専門に手がける「株式会社松本」平成23年に設立、平成28年に「QHOMeブランド」を立ち上げ岩手県北部を中心に盛岡までカバーしています。

創業は義父で、「松本建築」を昭和50年に立ち上げ今現在も続けています。リーマンショック、東日本大震災など建築業界では冷戦時期と言える時代に、「もうこれ以上悪くなる事が無い」と思い法人を設立しました。建築業界は値引き合戦、ローコスト住宅戦争で、もちろん小さい会社は勝負の土台にすら乗れない状況下であり、3年間は結果がついてきませんでした。そんな中、私は勘違いをしていたことに気がきました。同じ土台に乗ろうとする考えがそもそもの間違いで、目を向けるのは他

社ではなく、お客様ののだと考え方を変え、『住んで健康になる燃費の見える建物を作ろう』と決心し「QHOMeブランド」を立ち上げました。「QHOMeブランド」は、住宅のスペック・燃費の見える化を徹底しています。建物を建てる前に気象データをもとにシュミレーションし、光熱費や通風・日射を検討。年間を通して快適に、そして省エネで暮らせる住宅を提供することに成功しました。



その頃、倫理法人会と出会い、「職場の教養」による活力朝礼を行うようになりました。朝礼の最後に、ミーティング、連絡事項などを行い、社員一人一人の状態が分かるようになってきました。「今日は最良の一日、今は無二の好機」、「気づいた時、気がるに、喜んでさっと処理する」。私の好きな言葉です。



スポットライト

各単会の女性経営者の方にスポットを当て、経営と倫理に対する思い、そしてプライベートな関心事まで語ってもらいました。

しきなみ短歌会

今回の短歌

亡き母と

同じ名前のユリの花

匂い優しく我を包みし

(千田博子さん)

盛岡みなみ倫理法人会

モーニングセミナー
委員長

中村 友子

ディストリビューター
(株式会社ナチュラループラス)



○どんなお仕事をしていますか？

ナチュラループラスのディストリビューターをしています。人生100年時代、健康の大切さはもちろん、やりがい、経済の健康、これからの新しい働き方のご提案などをさせていただいています。私自身も働き方を変えつつ、自分のアトリエを作るという未来の目標に向かって進んでいます。より多くの方が前向きに自分らしく生きていけるお手伝いができればと思っています。

○倫理法人会に入ったきっかけは？

仕事でお世話になっている女性から、倫理法人会のMSの情報をいただき、参加させていただきました。最初は少し異様な雰囲気を感じてびっくりしましたが、みなさんの人柄が尊敬でき、私自身に学ぶところがたくさんあり入会しました。現在、単会のMS委員長をさせていただいております。会長をはじめ、幹事のみなさまに支えていただきながらなんとかやっています。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

MSの講話の倫理体験からの学びを日々の出来事の場面で意識しながら活用できるところは活用しています。また、100日実践も続けています。みなさんの100日実践を聞いていると、実践したい内容が多くあります。一つ一つ実践できれば良いと思います。

○趣味や熱中していることは？

作ることが好きで、手芸や料理（特にお菓子）を作り、集まりがあるとみなさんに振る舞ったりしています。食べるものから体は作られています。日本では普通の買い物でオーガニックの食材を買うことは難しいですが、なるべく全国のオーガニック食材を扱う通販サイトの食材を使い作っています。



一関市倫理法人会

専任幹事

菊地 利香

有限会社県南クリーン
代表取締役



○どんなお仕事をしていますか？

弊社は紙、非鉄、金属のリサイクルと一関地区広域行政組合の一般廃棄物の収集を行っています。会社のロゴマークには太陽と海、豊かな自然を表す赤、青、緑のデザインと『美しい地球』の文字が記載されています。事業を通して将来の世代の為に環境保全に寄与することを仕事と捉えています。

○倫理法人会に入ったきっかけは？

私の代になり一度退会したのですが、平成29年に鈴木正幸会長（当時）のお誘いで再入会しました。昨年までは母が時々経営者の集いや講演会、MSに出席しておりましたが、今は私も参加しております。

○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

靴をそろえる。自分から社員に声がけをする。自分がお手洗いにいった時にトイレ掃除をする。ゴミ拾いを行うという実践を行っています。また、私が経営塾に入塾して最初の講義が終わった後、社員皆さんに今までの私の足らざるところをお詫びして、一緒に経営理念を作成しました。その過程で社員の皆さんから良い意見が出てきたり、経営理念を作成する参考にと本をいただいたりという出来事があり、私自身の社員さんの見方が変わっていったと思います。また母である会長から創業した祖父や亡くなった父である先代社長の思いを聞く機会も得られ、親子関係にも変化が表れてきました。現在は皆で作った経営理念を朝礼で毎日唱和しています。



○趣味や熱中していることは？

今は、単会の専任幹事の役目も仰せつかっており、倫理に熱中しています。生来、人が好き。人と会うことが好きです。倫理を通して様々な方がたと出会っていたら良いなと思っています。



モーニングセミナー単会巡回報告



遠野市 倫理法人会

岩手県倫理法人会
モーニングセミナー委員会

副委員長 工藤 晴香

去る11月24日(水)に遠野市モーニングセミナーにて講話をしました。講話が決まりプロフィール等を送付後に届いた立派なご案内!このご案内を渡されたら私をご存じない方でも「すごい人が来るみたい」と、ワクワクするのではないかと思います。

遠野市は岩手県会長の所属単会であり歴代会長も多くご参加されているとのこと、緊張しながら行きました。ホテルの部屋に入ると達筆なお手紙と、一緒に置いてあった遠野名物「明けがらす」のおもてなしが嬉しかったです。

当日は、みなさま温かくお迎えくださり緊張もほぐれ、また温かさの中に凜とした空気感がありました。モーニングセミナー朝礼ではチェックリーダーを務め、正対のタイミングや正対が合うポイントをお話しました。また、朝礼後にはお互いに指摘をしている姿が見え、これが凜とした空気感にも繋がっていると思いました。

モーニングセミナー後にはみなさまから感想カードや直接のお声掛けが多く、このことは私自身の学びとなりました。朝食会ではバイキングをみなさまと様々なお話をしながら頂き、ここでも私の御膳を下げてくださったり、コーヒーを準備して頂いたり最後までおもてなしをして頂いたことは見習いたいと思いました。



温かいお心遣いに感謝



凜とした中での講話

広報委員会

単会の広報活動の紹介

今年度は、「普及委員会」を設置せず、全ての委員会が「普及」を念頭においた活動をする事になっています。県広報委員会では、会報「かけはし」の発行、ホームページの運用をメインに広報活動をしています。各単会では、どのような広報活動をしているのか、その一端をご紹介します。他の単会を参考にして、「普及」に繋げていただければと思います。(文責・岩手県倫理法人会広報委員長 菊池忠彦)



▲広報紙
紫波・矢巾準倫理法人会



▲広報紙
盛岡市倫理法人会



▲ホームページ
花巻市倫理法人会



▲Instagram
宮古市倫理法人会



▲Facebook
盛岡市倫理法人会



▲Facebook
北上市倫理法人会



第4期岩手倫理経営塾 塾生募集！

岩手倫理経営塾だからできる！深く学べる5つの特徴

1. 【倫理経営】を徹底的に学べます。

純粹倫理に基づいた本質的思考を学びトップが持つべき志、使命感を見出します。進むべき方向を自覚し、部下にしっかりと示すことができるリーダーを目指します。

2. 唯一無二の【経営理念】ができます。

「心ぐせ」「非日常」「挑戦」「徹底」をキーワードに自分の人生と会社の存続を如何にすべきか、塾生同士で語り合います。その過程は、険しく厳しさがああります。そこから生み出された「経営理念」は魂の入った道標となります。

3. 【感謝】の気持ちを深め人間力を磨きます。

4. 「想い」を形にした【経営計画書】ができます。

5. 講師や塾生同士の【ネットワーク】ができます。



申込期間：2021年11月5日(金)～2022年1月14日(金)
(定員になり次第締め切り)

募集人員：10名(限定)

開催期間：2022年2月から2022年7月(全6講)

受講料：130,000円(受講決定後の請求となります。)

※申込書は岩手県倫理法人会ホームページよりダウンロードできます。

卒塾生からひと言

「何のため」に事業を行っているのでしょうか？「事業の目的」を問い続けていますか？との問い掛けに、私は即答できませんでした。なぜならば何となく思い描いてはいましたが、より深く考えたことも、それに費やす時間も不足していました。

自社の存在意義が明確でないから、つまづいたときに希望をなくすのではないのでしょうか。

根幹＝「志」についてより深く学ぶことで自分の使命を見出し、今後の会社経営に活かせるよう卒塾後も塾生の皆さんに熱く関わりそして共に学ぶ、それが岩手倫理経営塾です。

ぶらり 寄りみち 散歩道

照井菓子店
(花巻市大通り 2-7-6)

賢治さんゆかりの地「銀河鉄道の夜」と心象スケッチ「春と修羅」の印刷所跡

『授業が終わると「家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲がってある大きな活版処に入って」そこでアルバイトの活字を拾う仕事をします。6時少しすぎに仕事が終わって日当をもらおうとそれでパンなどを買い、病気の母親の待つ家に帰ります。そう遠くもない活版所に行くのに三度も町角を曲がるのが面白いので、賢治はわざわざこう書いていたのです。

花城小学校はお城の中にありましたから、敵が攻め込みにくいようにカギ型に曲げた道を通らねばならず、そこで2回曲がります。モデルと考えられる大正活版所は、そのころ相生町として新しくできた道路に面していたために、もう一回曲がり、合計3度も曲がっ



趣のある店舗外観

たのです。その活版所は現在、照井菓子店になっています。』(花巻商工会議所「賢治・星めぐり推進協議会」より引用)

在来線花巻駅から大通りを南側へ歩いていくと、昔ながらの趣のあるお団子屋さんがあります。店内ショーケースには6種類の手作り団子が並んでおり、お茶餅、しょう油だんご、小豆だんご、ごまだんご、きりさんしょうがあり、なかでもおススメが経木まんじゅうです。経木(きょうぎ)とはスギ、ヒノキを用いた薄い木の板のことで、黒蜜を包んだお団子が経木の上に3つのっています。ほどよい甘さの黒蜜が口当たりの良いお団子と相まってとてもおいしいです。

店主にはポリシーがあって、「当店のだんごはその日にたべてください。次の日はかたくなるためうまくないです。当日に食べない人には売りません」と掲示されています。職人氣質の店主が作るお団子は、とても多くの人に愛されています。

末永く残したいお店です、お近くへ来た際にはご賞味くださいませ。(花巻市倫理法人会広報委員長 瀧 栄一郎)



美味しそうなお団子がたくさん



ポリシーとお品書き

『万人幸福の葉』

運命は自らまねき、境遇は自ら造る（運命自招）



人の一生は、運命という、どうすることも出来ない力で、きまった道筋を引かずに流れて行くものである、というように信じているものがある。そして生まれた年月日、又時間がわかれば、その人の一生はすっかりわかるなどと言う者さえある。「運は天にあり」とか「果報は寝てまで」とか言うのは、そうした考えからであろう。

しかし、いやしくも人の関係する仕事で、すてておいて、手をこまぬいて、わきから見ていて出来る仕事はどこにあるだろうか。自然現象は定まった法則に従って、一糸乱れず運んでいる。天候に大部分の運命がかかったように見える農業や漁業でさえ、ほうっておいては田畑は草野となり、魚群ははげしてしまう。ましてや生産も交通も、教育も宗教も、何一つすてておいてできることはない。

毅然と立って行えば運は開ける。

「運は勇者を寵愛す。」（ヴァージル）

ぐずぐずしておれば、その機会は去って二度とかえってこない。

「チャンスは前頭だけに毛髪があり、後頭にははげている。もしこれに出あったら前髪を捕らえよ。一度にがしたら、神様でもこれを捕らえることは出来ぬ。」（ラプレー）
目の前にきたあらゆる機会をとらえて、断乎として善処する人、一度こうと目的を定めたら、終始一貫やってやりぬく人、これが世に言う成功者である。

「天は自ら助くる者を助く。」

ぐずぐずして、いくらその時があっても手を出さぬ。何か困ることがあると、ぐったりしてすぐ止める。これは世の弱者であり、敗残者である。塙保己一が、日々「般若心経」を読んで心をむちうち、大『郡書類従』を編纂したその努力、ヘレン・ケラー女史の師のサリバング、いかにそのチャンスを捕らえて教育して、この三重苦の大天才を生み出したか。これを思うと、盲目という一見不遇のさだめは、一転して大きい幸運と輝きわたった。

「各人の運命は各人の手中にあり。」（シドニー・スミス）
従って境遇も、あらかじめ、そうしたさだめがきまっています、その中に入って行くのではない。その人の心の通りに、境遇の方が変わるのである。現に憂うつ性の人が集まって、しめっぽい話をしている。座はいよいよ打ち沈む。ここに世に心配をしらぬ青年が、呵々と大笑して入ってくる。一座は急に停電後点燈したように明るくなる。

よわり目にたたり目、泣き面に蜂、心が打ちしめれば、その環境は、梅雨時のように打ちしめり、かつ然として心が打ち開ければ、天地一碧、ようようたる大宇宙が打ち開ける。

運命を切り開くは己である。境遇をつくるも亦自分である。己が一切である。

努力がすべてである。

やれば出来る。



倫理との出会いと今

岩手県倫理法人会 副会長
菊池 一彦

入会してかれこれ18年にもなろうとは、入会した当時からすれば思いも寄りません。私の倫理との出会いは、青年会議所を卒業した40歳の時に青年会議所繋がりで及川司さんからお誘いを受けたのが始まりです。その頃は創業者の父親が工務店を経営しており、一緒に働く私は苦勞とは程遠い生活でしたので、ずっと入会をお断りしておりました。それが一変したのは、私が42歳になる年の5月に父親の癌が見つかり、翌年の1月に他界して事業を引き継ぐ事になったのがきっかけでした。成り行きで事業を引き継いでみたものの、何も分からない私が果たして従業員、その家族を路頭に迷わせずに会社経営して行けるのだろうかと不安が日増しに大きくなっていき、夜も中々寝付けない日々が続いていました。

そんなある日、司さんが勧誘時に言っていた、「万人幸福の葉」の通り生活していればみんな幸せになれるから、と言う言葉が頭に浮かんできてモーニングセミナーに一度行ってみようと思うようになりました。初めて参加した時、歌を斉唱してお題目（万人幸福の葉）を唱える行為が青年会議所に似ていて、あまり違和感無く感じたのでそのまま入会しました。入会後も司さんには活力朝礼導入の助言を受けました。また、司さんが会長時の専任幹事を任命されて、その後会長を引き継ぐ事になりました。そのほかにも司さんのご息女、旺子さんが倫理経営塾を卒業する際に挨拶を会長ではない私がすることになるなど、司さんとは不思議なご縁があるようです。

倫理法人会は、社会人になっても仕事抜きで濃密な人権関係が出来るのが、強みなのではないかと感じています。

広報委員会出席のため矢中から大船渡に行ってきました。途中で土砂降りの雨に見舞われ予想していた時間よりもかなり遅れましたが、何とか到着しました。大船渡に着くころには晴れ間も見え、やはり岩手は広いなあとあらためて実感しました。会議が終わると外は小春日和で、ソフトクリームを食べたり、魚を仕入れたり、お土産を買ったりしました。岩手の特産品は総合力が高いようで、確かに乳製品・米など、どれを取っても全国的に

有名な商品があり、肉や海産物もふるさと納税などで人気だそうです。県内各地に出かけたときは、微力ながら応援しようと現地にお金を落とすようにしています。買い物で経済が回るだけでなく、お土産などを持ち帰ることでも家庭も円満になるのではないかと感じています。

紫波・矢中準倫理法人会 広報委員長

昆 浩 司